

令和元年度第1回奈良県冬季誘客イベント「大立山まつり」実行委員会議事録（要旨）

日時：令和元年7月17日（水）15:00~15:40

場所：ホテルリガーレ春日野「天平」の間

【平成30年度事業報告及び収支決算（案）について】

第1号議案、第2号議案について、全員一致で承認

【令和元年度事業計画（案）及び収支予算（案）について】

第3号議案、第4号議案について、全員一致で承認

審議概要

委員)

日本博として奈良県が実施する「古代から令和の時代までつながる文化を巡る奈良博覧プロジェクト」及び奈良県等が主催する地域伝統芸能全国大会の内容について教えていただきたい。

事務局)

日本博は、国が展開する文化の祭典となっており、「日本人と自然」というメインテーマのもと、日本全国各地で実施され、2020年を中心にその前後にも開催される。その中で、「古代から令和の時代までつながる文化を巡る奈良博覧プロジェクト」として、奈良県が大立山まつりを含めたプロジェクトを企画立案し、国から承認をいただいたもの。

また、地域伝統芸能全国大会は、国内及び海外からそれぞれの地域に伝わる伝統芸能が、奈良に集まっていたいて9月に開催されるイベントである。

委員)

奈良博覧プロジェクトには大立山まつり以外に何があるのか。また、地域伝統芸能全国大会の財産の活用とはどういうことか。

事務局)

大立山まつり以外には、奈良県の文化財の修理現場の見学や講演、県立美術館、万葉文化館、民族博物館の企画展である。

また、地域伝統芸能全国大会の財産の活用とは、本大会では全国から素晴らしい伝統芸能が奈良県で披露されるが、これまでの大立山まつりでは県内の伝統芸能のみの披露であった。県外の伝統芸能を披露していただくことで、奈良県民の方にも見ていただきながら、県外の伝統芸能との交流を深めていきたいと考えている。

委員)

前回のバスツアーが廃止され、代わりにリレーマラソンが入ったのか。また、冬季の宿泊観光客の増加を図るとあるが、これまでの実績評価と今後どのように期待しているのか。

事務局)

バスツアーについては、まつり本体に十分に参加できないという意見も踏まえて、とりやめたい。

冬季の宿泊観光客増加の実績を計ることは難しいが、昨年度のアンケート結果によると、まつりの滞在時間が長い、県外とりわけ関西圏以外からの参加率が多い、日曜日の来場者数が昨年度より増加している傾向があり、県内における周遊・滞在及び宿泊につながっているのではないかと考えており、今後とも冬季の宿泊観光客の増加につながるように充実・強化に努めていきたい。

委員)

飛鳥RUN×2リレーマラソンとの連携とは具体的にどういうことか。

事務局)

飛鳥RUN×2リレーマラソンの中で、大立山まつりのリレーマラソンが開催されるという広報面を中心に連携を図っていきたいと考えている。また、飛鳥RUN×2リレーマラソンからの要請があれば、大立山まつりと連携させていきたい。

委員)

12月に奈良マラソンが行われるが、参加者が1万人を超えて、県外及び海外からもかなり参加されるイベントである。奈良マラソン参加者にも、大立山まつりのリレーマラソンを知ってもらえれば、効果的な広報につながると思う。土曜日に若草山焼きを見て、次の日大立山まつりのリレーマラソンで走るというプランで宿泊客を誘致できると思う。

また、4月から平城宮跡と奈良公園を結ぶぐるっとバスが運行しており、大立山まつりを体験して、奈良公園にも来ていただくなど、奈良市内を周遊していただく交通手段もPRしていただければと思う。